

# 中国養老サービス（老人介護）市場の現状

岡山県上海事務所 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所 所長)

## 老人人口の推移

日本でも報道されている通り、中国では老人の人口が大きく増加しています。中国では60歳以上の人々を老人と定義づけており、その人口は毎年400万人～900万人ずつ増加し、全人口に対する比率も年々高まっています。今後も毎年1000万人前後の増加が見込まれており、2030年には中国の老人人口は4億人に達すると予測されています。

中国の60歳以上の老人の人口推移

	60歳以上 老人人口	全人口に 対する比重
2006年	1億4901万人	11.3%
2007年	1億5340万人	11.6%
2008年	1億5989万人	12.0%
2009年	1億6714万人	12.5%
2010年	1億7765万人	13.3%
2011年	1億8499万人	13.7%
2012年	1億9390万人	14.3%
2013年	2億243万人	14.9%

データ出所：中国民生部《2013年社会服務発展統計公報》

## 養老サービス機関（老人ホーム）の状況

老人の増加に伴い、近年養老サービス機関（老人ホーム）の不足が大きな問題になり始めました。以下に示す表の通り、2013年末時点での老人1000人あたりのベッド数は24.4床しか

なく、著しく不足しています。昨年末の統計では、宿泊可能な養老サービス機関のベッド数は老人人口の比重の増加を上回る速度で増加していますが、実際に養老サービス機関に入っている老人数は307万4千人しかおらず、提供ベッド数の6割強程度でしかありません。また、養老サービス機関の入居者数の伸びもベッド数の増加スピードを大きく下回る5.5%でしかありません。

中国の老人ホームの設立状況（2013年末）

項目	数量	前年比
宿泊可能な 養老サービス 機関	42,475 機関	データなし
ベッド数	493万7千床 ※うち社区（コミュニティ）における 宿泊施設とデイケアベッド数は 64万1千床	18.9%増
老人1000 名当たりの ベッド数	24.4床	13.9%増
養老サービス 機関の受入れ 老人数	307万4千人	5.5%増

データ出所：中国民生部《2013年社会服務発展統計公報》

これは、中国には老人は家庭で面倒を見るものという伝統的観念があるほか、中国の養老サ

ービス機関が気楽に利用できる価格（老人の健康状態やサービス内容等にもよるが、数千元/月）ではないこと、つまり富裕層向けの老人ホームが多いという理由があります。

また、中国老齡科学研究中心が行った3回の調査では、生活能力を失った老人のうち16.6%、実数に置き換えるとおよそ597万6千人が養老サービス機関に入所することを希望していることが分かっています。民間の養老サービス機関の多くは比較的健康的な老人のみ受け入れ可能で、生活能力を失った老人を介護できる能力を持つ養老サービス機関は少なく、受入能力は著しく不足しています。

## 日系企業の動き

中国の行政部門もこのような状況を把握しており、早くから状況の改善に力を入れています。実際は老人の増加スピードに全く追いついていません。中国の一部地方政府は数年前から日本の老人ホームの誘致や運営ノウハウの導入に力を入れており、昨今もある地方政府が大阪を訪れました。

一方、日本の老人ホームを含む多くのシルバー関連企業も、急拡大する中国シルバー市場に注目しています。日系の有料老人ホームはすでに上海市、山東省青島市、遼寧省大連市等に進出または進出準備中であり、このほか福祉用具関連等の製造販売を始めている企業もあります。しかしその進出エリアは今のところ沿海部の有力諸都市に限られています。ある日本の老人ホーム運営企業の経営者は中国での老人ホームについて、施設を持つことのリスク、補助金が無い中での養老サービス機関（老人ホーム）の運営の難しさを指摘しており、また人材育成もハードルの一つとして認識されています。

中国の養老サービス需要は大きいものの、日

本と同様、その市場は厳しいものであると言えるでしょう。

(2014年7月)